

学生応援プロジェクト「これからのジャーナリズムを考えよう」

6月19日（土）午前9時から、オンラインで開催

日本経済新聞社と米コロンビア大学ジャーナリズム大学院、早稲田大学ジャーナリズム大学院は、学生応援プロジェクト「これからのジャーナリズムを考えよう」を6月19日に開催します。



調査報道に携わるジャーナリストらが、コロナ禍が社会に与えている影響、国家やメディアの役割について多面的に論じます。日米をつなぎ、早稲田大学大隈講堂からオンラインでお届けします。日英同時通訳付きですので、英語に自信のない方にも安心してご参加いただけます。

シンポジウム終了後は、日本経済新聞社の最前線で働く記者ら社員が仕事の疑問に直接お答えする徹底討論会「これからのジャーナリズムを考える」を開催します。マスメディアを研究中、あるいは就職先として関心をお持ちの方はぜひご参加ください。このイベントは石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞の創設20周年関連事業として行います。

◆詳細・お申し込みは⇒ <https://www.nikkei.com/live/event/EVT210511006>

【イベント概要】

◇日時：2021年6月19日（土）9:00～13:15（日本時間）

※オンライン開催、視聴無料、日英同時通訳あり、ZOOM ウェビナー

◇主催：日本経済新聞社、米コロンビア大学ジャーナリズム大学院、早稲田大学ジャーナリズム大学院

◇共催：早稲田大学広報室内 早稲田ジャーナリズム大賞事務局

◇協力：上智大学メディア・ジャーナリズム研究所、慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所

◇プログラム

【シンポジウム】

主催者挨拶 田中愛治・早稲田大学総長

開演のことは スティーブ・コル・米コロンビア大学ジャーナリズム大学院長
講演 中林美恵子・早稲田大学社会科学総合学術院教授
パネルディスカッション「分断する社会と民主主義の将来—メディアの役割とは」
シェイラ・コロネル・米コロンビア大学ジャーナリズム大学院教授
シッラ・アレッチ・国際調査報道ジャーナリスト連合（ICIJ）所属
グレース・リー・日本経済新聞社 Nikkei Asia 記者
土屋礼子・早稲田大学政治経済学術院教授
総括 瀬川至朗・早稲田大学政治経済学術院教授
MC 小倉星羅（早稲田大学ジャーナリズム大学院修士課程2年）

【討論会】徹底討論会「これからのジャーナリズムを考える」

司会：藤井彰夫・日本経済新聞社常務執行役員論説委員長
阿部哲也・国際報道センターAssistant business and market news editor
平野麻理子・生活情報ユニット記者
グレース・リー・Nikkei Asia 記者
片岡美緒・デジタル編成ユニットプロダクトマネージャー
友部温・HR 本部人事部

◇お問い合わせ先

「これからのジャーナリズムを考えよう」事務局

E-mail: jism@nex.nikkei.co.jp

◆詳細・お申し込みは⇒ <https://www.nikkei.com/live/event/EVT210511006>

※シンポジウムは（9時～11時半）は一般の方もご視聴いただけます。

こちらからお申込みください。 <https://www.nikkei.com/live/event/EVT210426002>

※Please Click here for English page. <https://events.nikkei.co.jp/38486/>